



We are the **HAGUKUMI**

- 県梅干し品評会開催!..... 3
- 広報誌発行頻度の変更について..... 6
- 「水稲個人別施肥相談会」の
お知らせ..... 6
- 地区別座談会を開催します..... 7
- 販売手数料率(一部)改定について.... 7

今月の写真「県梅干し品評会の様子」(関連記事は3ページ)

みんなの
はぐくみ

2026年

No. **344**

2
February



ホームページ

<http://www.ja-hagukumi.or.jp>



◀飛騨高山を満喫する
みさと梅部会の皆さん

**みさと梅部会
飛騨高山旅行**

11

月25～26
日、J Aは

ぐくみみさと梅部
会は岐阜県の飛騨
高山へ1泊2日の
旅行へ出掛けまし

た。部員約20
名が参加し、
日頃の疲れを
癒し親睦を深
めました。

1日目は、
北アルプスの
玄関口「アル
プス街道平
湯」で昼食後
「飛騨高山ま
つりの森」と
「飛騨民俗村
飛騨の里」を
観光。

2日目は、
江戸時代の代
官所「高山陣
屋」見学後、
高山市の古い
街並みや宮川
朝市を散策し
ました。最後
は「じねんの
むら」の自然
薯料理で飛騨
高山を満喫し
ました。

高

崎市立国
府小学校

**「国府白菜」
収穫最盛
国府小児童が
収穫体験**



▲白菜の収穫方法を説明する生産者

者が収穫のサポ
トやコツを伝授
し、児童らは地域
農業への理解を深
めました。

同校では、地域
の伝統野菜の栽培
を通じた食農教

3年生の児童は12
月23日、同校に隣
接する学校農園で
国府白菜の収穫体
験を行いました。
生産者やJ A担当

育に取り組んでお
り、国府白菜の栽
培過程を通じ地域
への感謝の気持ち
を育むことなどを
目的としています。

J

Aはぐくみ「すみれの
会」と「はるな梅女性
部」は11月27日に、「東部女性部」

**各女性組織が
寄せ植え教室
を開催**

は12月16日にそれぞれ寄せ植え
教室を、はぐくみ管内で開きま
した。



▲あしらった寄せ植えと記念撮影(すみれの会)



▲談笑しながら寄せ植えを楽しむ部員たち(はるな梅女性部)



▲講師からコツを学び、見栄え良く植える部員たち(東部女性部)

全会場合わせて約90人が
参加。寄せ植えには、シク
ラメンやビオラなど、耐寒
性のある花を数種類用意
し、部員同士交流しながら
思い思いのデザインをあし
らいました。



◀出品された梅干しを入念に審査

**県梅干し
品評会
「一般の部」を
新設**

群

馬県園芸協会は1月21日、第34回群馬県うめ干し品評会を群馬県庁舎1階の県民ホールで開催しました。「県推奨品種の部」と「その

他品種の部（大うめの部・小うめの部）の3部門合わせて52点が出品。審査の結果「県推奨品種の部」では永井友紀さん（JAはぐくみみさと梅部）が、「その他品種の部」では戸塚啓子さん（同部）が最高賞の県知事賞を受賞しました。

はるな梅部会の長壁好美部会長は「4月の降雪の影響が心配だったが、質は良く、出品数も平年並みで安心した。」と話します

また、今品評会より梅生産者以外からの出品部門「一般の部」を新設。優秀な出品物にはうめのわ（群馬の梅を応援する企業の念）賞などの特別賞が贈られました。

**各部会
新年総会
新体制でさらなる
地域活性化を**

J

Aはぐくみ里見梨部は1月14日、里東桃部と里東果実部は16日に、はるな梅部会は30日にそれぞれ新年総会を行いました。各役員や来賓などが出席し「令和7年度収支報告」や「令和8年度予算案」などを協議しました。また、任期満了に伴う役員改選も行われ、各部で新たに役員が就任しました。

新役員は次の通りです。（敬称略）



【里見梨部】

部長

副部長（会計）

副部長（研究会長）

日野原 浩

倉橋 信英

星野 雅彦



▲就任の挨拶をする里見梨部新役員たち

【里東果実部】

部長

副部長（会計）

副部長（研究会長）

中島 一行

富沢 年行

富沢 貴洋



▲就任の挨拶をする里東果実部新役員たち

【里東桃部】

部長

副部長（会計）

赤尾 昇

赤尾 浩史



▲新たに就任した里東桃部役員

【はるな梅部会】

部長

副部長（販売部長）

副部長（加工部長）

中島 金作

新井 学

小池 順次



▲抱負を述べるはるな梅部会新役員たち

第284回

農作業のユツ

Agriculture

西部農業事務所 農畜産課

お問い合わせはこちらまで… **027-322-0539**

めざせ麦1等 適期に赤かび病防除を 実施しましょう

麦の中・後期の栽培管理について、以下に挙げるポイントを参考に、適切な管理を行い、1等の麦を生産しましょう。

1. 赤かび病防除(必須)

赤かび病は、カビ毒であるデオキシニバレノール(DON)を産出する病害です。DONの検出が基準値を超えた場合、自主的な出荷停止となります。他県では、小麦からカビ

表1 麦種別防除適期

小麦	開花始期～開花期(出穂後5～7日)とその10～20日後
六条大麦	開花始期～開花期(穂ぞろい期)とその10日後

※出穂期: 全茎の40～50%が出穂した日
※穂ぞろい期: 全茎の80～90%が出穂した日

毒が検出され、自主回収となる事例が発生しました。安全安心な麦生産のため、必ず適期に防除してください。

(1) 防除
● 麦種別防除適期は、表1のとおりです。赤かび病防除は2回行いましょう。

(2) 発生の条件
● 出穂期前後に気温が高く、降雨が多い場合に発生しやすくなります。

● 感染後、降雨によって、周囲への感染拡大が促進されます。

(3) 被害の様子(写真1)
● 出穂から乳熟期にかけて、穂の一部あるいは全部が褐色になり、穎(えい)の合わせ目に桃色のカビ(分生胞子)が生じます。



写真1 赤かび病の発生

表2 麦種別追肥の窒素量と時期の目安

品種	追肥窒素量	追肥時期
さとのそら	2～3kg/10a	茎立期前 2月下旬～3月上旬
シュンライ		
ゆめかおり	1回目: 2～3kg/10a	開花期ころ 赤かび病防除と同時散布ができる
	2回目: 2～4kg/10a または尿素4～8%溶液(溶液量100L/10a)	

2. 追肥の実施

収量とタンパク質含量を確保するため、生育状況を見ながら適期に追肥を行います(表2)。

「ゆめかおり」は、開花期の追肥がタンパク質含量向上に効果的で、赤かび病防除と同時に尿素溶液散布も有効です。

「シュンライ」は、過剰な施肥を行うと、硝子率が高くなり品質低下を招きやすいため、追肥量に注意しましょう。

3. 麦踏み

麦踏みは分けつの促進、耐倒伏性・耐寒性・耐乾性を高め、茎立ちを遅らせて凍霜害を受けにくくする

などの効果があります。生育に合わせ、3回程度実施します。出芽数の不足や過繁茂・暖冬時は1～2回多く行いましょう。

4. 麦類の凍霜害

(1) 発生条件
● 幼穂凍死(写真2)は、幼穂長3ミ程度から20～30ミのころに0℃以下の低温に遭遇した場合に発生します。

(2) 被害後の対策

● 幼穂凍死は、「うどんこ病」、「赤かび病」の発生を助長するので、防除に努めましょう。

● 弱小穂が発生し、二段穂となることがあるので、収穫時期に注意しましょう。



写真2 幼穂凍死型

5. 排水対策の徹底

幼穂形成期(茎立期前)及び成熟期には湿害の影響を受けやすいので、特に排水の悪いほ場では、明渠排水溝(深さ30センチ程度)の設置を必ず行いましょう(写真3)。



写真3 額縁明渠



写真4 カラスノエンドウ2葉期

6. 適期・適正な雑草防除

土壌処理剤で防除しきれなかった雑草を茎葉処理剤で防除します。効果的な防除のために、雑草発生状況（生育ステージ、種類）によって適切な薬剤を選択し、薬剤の適用葉齢より若いうちに防除を行うよう心がけましょう（写真4）。

7. 収穫適期

刈り遅れによる品質低下を防ぐため、適期収穫に努めてください。

収穫適期の目安は、穀粒水分25%以下、穂首の曲がった穂が50%以上、小麦「さとのそら」は出穂期からの積算温度915℃到達日以降です。

（西部農業事務所 農畜産課

農畜産指導係 佐藤 謙一）

今後、堆肥を活用してみたい・堆肥利用を増やしたいという耕種農家の方は、ぜひマップをご覧ください。



畜産協会マップ情報QR

あなたも
チャレンジ!
家庭菜園

シロウリ 適切な整枝で 着果を増やす

園芸研究家 ● 成松次郎

は比較的人手しやすい「沼目白瓜（タキイ種苗など）、白はぐらうり」（サカタのタネなど）、「青はぐら」（トキタ種苗など）などがお薦めです。その他、東京の「東京早生白瓜」、京都の「桂白瓜」、香川の「讃岐白瓜」などが伝統野菜として受け継がれています。

【苗作り】苗作りをする場合は、培養土を詰めた9センチポットに3粒ずつ種をまきます。本葉が出始めた頃に生育が良いものを残して間引いて1本にし、本葉5、6枚まで育てます。なお、遅霜の心配のない時期には、じかまきをするのができます。

【畑の準備】植え付け2週間前までに1平方メートルあたり100グラム程度の苦土石灰を散布し、土をよく混ぜておきます。1週間前に幅30センチ、深さ20センチ程度の溝を掘り、溝1センチあたり化成肥料（NPK各成分10%）100グラムと堆肥2銚を施し、土を戻してこの溝を中心に幅90センチ、高さ10センチ程度の栽培床を作ります（図1）。

【植え付け】風のない暖かい日に、深植えにならないよう、株間を約1メートルに植え付けます。

【保温】低温に弱いため、トンネル栽培やキャップ栽培を行います。トンネル

は夜間の保温と日中の換気のため裾の開閉で温度調節を行います。キャップ栽培は、ビニールで約30センチ角のあんどんやドーム状のキャップをかぶせます。トンネルやキャップの中が茎葉でいっぱいになるくらいまで育ったら取り外します。

【整枝】シロウリは孫づるに着果する性質があるため、摘心して孫づるを多く出させます。まず、親づるは本葉5、6枚でつる先を摘み、上の節から出る子づるを4本伸ばします。その後、子づるを8〜10節で摘み、それぞれの孫づるは2葉を残して摘心します（図2）。つるは左右に振り分けて重ならないように配置します（図3）。つるが伸びていく場所に、つるが絡むためのわらを敷きます。

【追肥】子づるが盛んに伸びだしてくる頃、1株当たり化成肥料50グラム程度を畝の両側に散布して土寄せします。さらに、孫づるが伸びだす頃に、同様に追肥・土寄せをします。

【収穫】若取りは200〜300グラム（開花後20〜25日）で収穫します。かす漬けなどの加工用は1銚程度（開花後40日程度）で収穫します（図4）。

【栽培時期】発芽適温は28〜30℃、生育適温25〜30℃と高温が適するため、主に初夏に種をまき、夏に収穫します。

【品種】地方品種として各地で固有の品種があります。いずれの品種も200〜300グラムほどで若取りすれば浅漬け用、1銚程度に大きくすればかす漬け用になります。家庭菜園で

図1 畑の準備

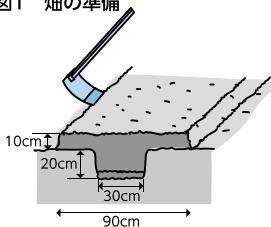


図2 整枝1

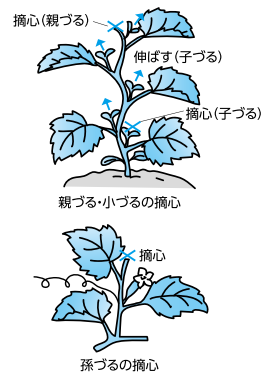


図3 整枝2(4本整枝)

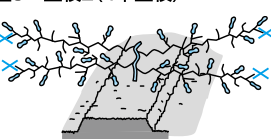
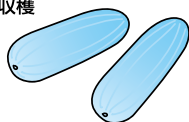


図4 収穫



広報誌「みんなのはぐくみ」 発行月変更のお知らせ

いつも当JAの広報誌をご愛読いただき誠にありがとうございます。この度、本誌の発行頻度を以下の通り変更させていただくことになりました。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

●**変更内容** ※今月号から変更となります。

年11回発行 → 偶数月の年6回発行
(2・4・6・8・10・12月)

最新情報、お知らせなどはJAはぐくみホームページで随時更新してまいりますので、あわせてご覧ください。

『水稻個人別施肥相談会』の お知らせ



●日時会場

令和8年4月 8日(水) 倉淵会場 倉淵支店2階 (三ノ倉303)

令和8年4月 9日(木) 榛名会場 西部営農センター 2階 (上里見町360-1)

令和8年4月 10日(金) 箕郷会場 東部営農センター (矢原401-3)

午前の部：9時30分～11時30分 / 午後の部：13時30分～15時30分 (全会場共通)

令和8年3月2日(月)までに各事業所へ土壌を提出してください。

土壌の取り方

- ①**土を採る** ●水稻の場合、中央と対角線上で5ヶ所、表土を1cm程度取り除き、作土を同じ厚さになるように移植ゴテで採ります。1ヶ所当たりの量は生土で約500gです。
- ②**乾燥** ●採取した土は新聞紙などの上でよく混ぜてから薄く広げ、風通しの良い日陰で約1週間乾燥させます。
- ③**調整** ●乾燥させた土を1～2mmの節に通して、細かい土を集めます。節の上に残った土は軽く砕いて、また節に通します。こうして約300gの土を土壌採取袋に入れて、必要事項を記入してJAの担当者に渡してください。

注意事項

- 上記日程は同内容のため、いずれかの会場へお越しください。
- 診断結果は各会場にて配布いたします。
- 診断結果を考慮した個人別の施肥相談会となります。
- 事前予約不要・参加料金不要となります。
- 診断料金は1検体税込990円(一般分析)
- 待ち時間が発生するため、ご理解の程よろしくお願いたします。

【お問い合わせ先】JAはぐくみ 西部営農センター (☎ 027-374-0256) 担当：TAC下平
東部営農センター (☎ 027-371-2235) 担当：TAC清水

令和8年度 地区別座談会のお知らせ

令和8年度の地区別座談会を右記日程で開催します。

令和8年度事業計画や令和7年度末事業実績などを説明し、組合員皆さまの意見や要望をお伺いします。

対象地区	会場	開催日時	
榛名地区	榛名支店	4月 6日(月)	18時～
箕郷地区	東部営農センター	4月 7日(火)	18時～
群馬地区	群馬支店	4月 8日(水)	18時～
倉淵地区	倉淵支店	4月13日(月)	18時～
国府地区	群馬支店	4月14日(火)	18時～

※いずれも17時30分より受付開始

販売手数料率(一部)改定について

平素より当組合の販売事業に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、当組合におきましては、長年にわたり販売事業の効率化および経費削減に努め、現在の販売手数料(3%)を維持してまいりました。しかしながら、昨今の国内における物流費・人件費・光熱費の上昇は、自助努力のみで吸収できる範囲を超えており、将来にわたり安定的に農産物を集荷・販売するインフラを維持することが困難な状況となっております。

つきましては、誠に心苦しい限りではございますが、地域農業の持続と販売機能の維持・強化のため、下記のとおり販売手数料率を改定させていただくこととなりました。

なお、今回の改定は出荷者の皆様のみにご負担をお願いするものではなく、当組合としても、市場や実需者に対し、生産・流通コストの上昇分を販売価格へ適正に転嫁するよう強く交渉を進めており、手数料改定分以上の販売単価向上による「手取りの最大化」に全力を尽くしてまいります。何卒、諸事情をご賢察いただき、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

〈販売手数料改定内容〉

青果

	改定前	改定後
野菜	3% ⇒	4%
野菜	1.5% ⇒	2% (精算のみ)
梅	3% ⇒	4%
果実	3% ⇒	4%
菌茸	3% ⇒	4%

●適用開始: 2026年3月1日出荷分より

お問い合わせ

- 本店営農課 ☎027-344-1424
- 東部営農センター ☎027-371-2235

- 西部営農センター ☎027-374-0256
- くらぶち事業所 ☎027-378-3110



悪質な修理業者等に ご注意ください！



昨年末より榛名・倉渕地区で「**全国自然災害支援協会**」「**災害支援協会**」を名乗る業者から「**共済金(保険金)が出る**ので屋根を見せてほしい」など、勧誘されたとお問い合わせいただく事案が複数確認されております。以前にも類似案件が発生しており、共済金目当ての悪徳業者である可能性があるため、電話・訪問等で勧誘があった場合は、最寄りのJAなどにご相談ください。

また、今回のようなお問い合わせを受けた際は、被害の未然防止のため情報提供などのご協力をよろしくお願い申し上げます。

ご相談、情報提供は以下の番号まで。

- 本店金融共済部 ☎027-344-1332
- 榛名支店 ☎027-374-0039
- 倉渕支店 ☎027-378-3407
- 群馬支店 ☎027-373-2355



「も・し・も」の時は、おまかせ下さい。

JAはぐくみ 葬祭センター ☎0120-64-5940 (事前相談受付中)

はるな葬祭センター(ふれあい倶楽部) TEL 360-8080

病院からのお迎え・ご葬儀の準備・終了までご連絡いただければ、速やかに手配・お手伝いさせていただきます。ご喪家の立場に立ってご予算に応じて厳粛なご葬儀が行えます。

提携業者 ●JA全農くんま ●株式会社アリエッセ ●櫻井式典有限公司 ●有限会社えぼし葬祭

JA全農くんま アリエッセ 櫻井式典 有限会社えぼし葬祭

みなさんの
お悩みに
手助けに **無料法律相談**

田中善信顧問弁護士をお迎えして
法律全般についてご相談にお答えします。

開催日 **3/19 (木)** 会場 **JAはぐくみ本店会議室**

※中止の場合はホームページにてお知らせします。

相談は予約制ですので、前日までに各支店窓口へお申し込み下さい。当日は午後2時からの開始で、申込順に順次ご案内致します。

青果物受付の休日カレンダー

3	日	月	火	水	木	金	土
●	1	2	●3	4	5	6	●7
●	8	9	●10	11	12	13	●14
●	15	16	●17	18	●19	20	●21
●	22	23	●24	25	26	27	●28
●	29	30	●31				

●の日は青果物受付の休日です。

みんなのはぐくみ

- 組合員数 7,030人 12月末現在 (うち准組合員 3,453人)
- 出資金 10億1,445万円
- 貯金総額 518億5,285万円
- 貸出金総額 68億2,049万円
- 長期共済保有額 1,480億4,162万円
- 農産物販売総額 22億5,136万円
- 購買品供給総額 12億2,792万円